

# メキシコ政治情勢（11月）

## 〈概要〉

### 【内政】

・20日、ロペス・オブラドール党首率いる国家再生運動（Morena）が2018年大統領選挙の公約とも言える「国家計画2018年－2024年」を発表した。

・21日付け当地「エル・ユニベルサル」紙が発表した2017年11月時点のペニャ・ニエト大統領の支持率は31%であった。

・27日、ペニャ・ニエト大統領は大統領官邸において、ミード大蔵公債大臣が辞任し、その後任にゴンサレス・メキシコ石油公社（PEMEX）総裁が就任し、また、新しいPEMEX総裁にトレビーニョ前PEMEX管理・サービス局長が就任する内閣改造を発表した。

・28日、エンリケ・ペニャ・ニエト大統領は、アグスティン・カルステンズ・カルステンズ・メキシコ中銀総裁の後任として、アレハンドロ・ディアス・デ・レオンを指名した。

### 【外交】

・1日、ペニャ・ニエト大統領及びビデガライ外相は、メキシコを公式訪問したル・ドリアン仏欧州・外務大臣とそれぞれ会談した。

・9～11日、ペニャ・ニエト大統領は第25回APEC首脳会議出席のためベトナムを訪問し、同首脳会議の機会を利用して、安倍晋三日本国総理大臣、トルドー加首相、リー・シンガポール首相、ターンブル豪首相、習近平中国国家主席と会談を行った。

・16～17日、ビデガライ外相はロシアを公式訪問した。

・21日、ペニャ・ニエト大統領は国立宮殿にて、メキシコを公式訪問したアンドレイ・キスカ・スロバキア大統領と首脳会談を行った。

・24日、ビデガライ外相がブラジルを訪問し、テメル伯大統領及びヌネス伯外相とそれぞれ会談した。

## 〈内政〉

### 1. 国家再生運動（Morena）による「国家計画2018年－2024年」の発表

20日、ロペス・オブラドール党首率いる国家再生運動（Morena）が2018年大統領選挙の公約とも言える「国家計画2018年－2024年」を発表した。従来からのロペス・オブラドール党首の主張通り、ペニャ・ニエト政権下で成立した構造改革の継続の是非を国民に問うと主張している。

### 2. 世論調査：大統領支持率

(1) 21日付け当地「エル・ユニベルサル」紙に、同紙と当地世論調査会社「ブエンディア&ラレド」社が共同で行った世論調査が掲載され、同調査における2017年11月時点のペニャ・ニエト大統領の支持率は31%（前回8月調査時の28%から3ポイント増）であった。また、不支持率は64%（同68%から4ポイント減）であった。

(2) ペニャ・ニエト政権の取組の中で評価する項目としては、社会福祉プログラムが14%で最も高い結果であった。他方、評価しない項目としては、経済政策・インフレ対策が16%で最多、次いで汚職対策11%、治安対策10%という結果であった。

(3) 国家の歩みに対し、回答者の70%が悪い(前回8月調査時の69%から1ポイント増)と回答し、良いと回答したのは18%であった(同18%から変化なし)。

### 3. ペニャ・ニエト政権の内閣改造

(1) 27日、ペニャ・ニエト大統領は大統領官邸において、ミード大蔵公債大臣が辞任し、その後任にゴンサレス・メキシコ石油公社(PEMEX)総裁が就任し、また、新しいPEMEX総裁にトレビーニョ前PEMEX管理・サービス局長が就任する内閣改造を発表した。

#### 【変更人事】

##### ●大蔵公債大臣

(前) ホセ・アントニオ・ミード・クリブレニャ → (新) ホセ・アントニオ・ゴンサレス・アナヤ前PEMEX総裁

##### ●PEMEX総裁

(前) ホセ・アントニオ・ゴンサレス・アナヤ → (新) カルロス・アルベルト・トレビーニョ前PEMEX管理・サービス局長

(2) 上記人事は、ミード前大蔵公債大臣が与党制度的革命党(PRI)の候補者として、2018年大統領選挙に出馬するための措置と見られている(注:憲法第82条の規定により、大統領選挙に出馬するためには、国务大臣は投票日の6ヶ月前までにその職務から離職する必要がある)。また、11月26日には、PRIの有力大統領候補と見なされてきたオソリオ内務大臣が2018年大統領選挙に出馬する意思はない旨明らかにしており、今後のPRI党内の選出プロセスを経て、ミード前大蔵公債大臣が大統領選挙のPRI候補となる可能性が濃厚となった。

### 4. メキシコ中銀の次期総裁の指名

(1) 28日、エンリケ・ペニャ・ニエト大統領は、アグスティン・カルステン・カルステン・メキシコ中銀総裁の後任として、アレハンドロ・ディアス・デ・レオンを指名した。任期は2017年12月1日から2021年12月31日まで。

(2) アレハンドロ・ディアス・デ・レオンは、メキシコ中銀理事として連邦議会上院の承認を得た後、本年1月1日から副総裁の職にある。

(3) 大統領は、メキシコ中銀の理事の中から総裁を任命する権限を有している(注:現職理事以外の者を総裁に任命しようとする場合、まずその候補者は上院の承認を得て理事になる必要がある。今回は現職理事の中から任命するため、上院の承認は不要)。

## 〈外交〉

### 1. ル・ドリアン仏欧州・外務大臣の訪墨

1日、ペニャ・ニエト大統領及びビデガライ外相は、メキシコを公式訪問したル・ドリアン仏欧州・外務大臣とそれぞれ会談した。

#### (1) ペニャ・ニエト大統領との会談

(ア) 1日、ペニャ・ニエト大統領は、メキシコを公式訪問したル・ドリアン仏欧州・外務大臣と会談した。「ペ」大統領は、9月にメキシコで発生した地震に対する仏国民及び政府による連帯の意思表示に謝意を述べた。

(イ) 「ル」大臣は、墨 EU 自由貿易協定の現代化交渉について、仏はメキシコを支援する考えである旨改めて述べた。これに対し、「ペ」大統領は、メキシコは右交渉を年内に終えたいと考えていると述べた。

(ウ) 「ペ」大統領は、本年7月にパリで行ったマクロン仏大統領との首脳会談で扱われた議題について触れ、「ル」大臣に対し、メキシコは気候変動への取り組みに対する「マ」大統領のリーダーシップを支持し、12月12日に開催されるパリ・サミットに「ペ」大統領が出席する旨約束した。

(エ) 「ペ」大統領と「ル」大臣は、仏墨戦略的評議会 (Consejo Estrategico Franco-Mexicano) のメンバーと会談し、墨仏の戦略的パートナーシップを強化するために、評議会の活動を活性化させる点について意見交換を実施した。

#### (2) ビデガライ外相との墨仏外相会談

(ア) 1日、ビデガライ外相と「ル」大臣は墨仏外相会談を行い、墨仏二国間関係の主要な議題の再検討を行うとともに、国際情勢に関して意見交換を行った。両外相は、両国間における過去に例のない頻度で行われる政治対話、貿易の増加、協力の多様化と深化及びマルチ分野における協力関係の構築に表れているように、墨仏の関係が発展していることを評価した。

(イ) ビデガライ外相は、現在行われている墨 EU 自由貿易協定の現代化交渉における仏からメキシコへの支援に対し謝意を述べた。

(ウ) 両外相は、多国間主義、国際協力に対する両国の約束について言及し、気候変動、人権の尊重・擁護、持続可能な開発のための「2030アジェンダ」の実施といった世界共通の主要な課題において、協力していくことを確認した。

(エ) 両外相は仏墨戦略的評議会に出席した。同評議会において、創造産業、映画技術、気候変動、技術革新、都市デザイン、環境対策（再生可能エネルギー、水処理、廃棄物）、起業、農産加工業、中小企業支援といったテーマが新しく議題に追加された。

### 2. ペニャ・ニエト大統領のベトナム訪問 (APEC 首脳会議出席)

9～11日、ペニャ・ニエト大統領は第25回 APEC 首脳会議出席のためベトナムを訪問した。

#### (1) APEC 首脳会議

(ア) 第1日目(10日)

(a) ペニャ・ニエト大統領は、ベトナムのダナンにおいて開催されている第25回 APEC 首脳会議の第1日目の会合に参加した。

(b) 「ペ」大統領は、同首脳会議の機会を利用して、安倍晋三日本国総理大臣(日墨首脳会談の様子は、[http://www.mofa.go.jp/mofaj/la\\_c/m\\_ca\\_c/mx/page1\\_000429.html](http://www.mofa.go.jp/mofaj/la_c/m_ca_c/mx/page1_000429.html) で閲覧可。)、トルドー加首相、リー・シンガポール首相、ターンブル豪首相、習近平中国国家主席と会談を行った。これらの会談の中で各国首脳は、二国間協力及び貿易・投資の促進並びに地域の課題等について、議論を深めた。

(c) 「ペ」大統領は、カニングハム FedEx Express 会長兼 CEO と墨米間での電子商取引の可能性につき意見交換を行った。

(d) 「ペ」大統領は ASEAN 首脳達と会談を行い、ASEAN が太平洋同盟との間で行っている経済、教育、技術革新、科学技術及び持続可能な開発の分野における取り組みについて言及した。

(イ) 第2日目(11日)

(a) ペニャ・ニエト大統領は、ベトナム(ダナン)で行われた第25回 APEC 首脳会議の第2日目の会合に参加し、APEC 首脳とラガルド IMF 専務理事との会合、2つのリトリート及びワーキングランチに出席した。

(b) 首脳会議第1リトリート「デジタル時代における革新的成長、包摂性及び持続可能な雇用」において、「ペ」大統領は、持続可能且つ包摂的な成長を図る上で APEC 参加国・地域が直面している問題について言及し、貿易促進への取り組み及びかかる取り組みを達成するためのビジネス環境の改善の重要性について述べた。

(c) ワーキングランチにおいて、APEC 首脳は、APEC の発展のためにポスト2020アジェンダを活用する上での見解及び優先順位について議論した。「ペ」大統領は、最も重要な課題の1つは、より回復力のある経済を促進し、低開発国が自然災害や気候変動の影響に対応することを支援するより多くの且つより良いメカニズムを創設することである旨述べ、カリブ地域がアジア太平洋の島嶼国と課題を共有することについて言及した。

(d) 首脳会議第2リトリート「地域の貿易、投資及び連結性のための新たな原動力」において、「ペ」大統領は、アジア太平洋地域の統合プロセスを強化するために、引き続き自由貿易を推進することが重要である旨述べるとともに、全ての国に裨益するためにより包摂的な貿易を行うことが必要である旨述べた。また、同大統領は、零細・中小企業がグローバル・バリュー・チェーンに参加できるようにするためには、これらの企業の能力を強化することが不可欠である旨述べた。

(e) 2016年のメキシコの輸出の89%、1999年から2017年第二四半期までのメキシコへの外国直接投資の57%が APEC 参加国・地域によるものとなっている。

(2) 墨越首脳会談

(ア) ペニャ・ニエト大統領は、チャン・ダイ・クワン越国家主席と会談し、先日の台風「ダムレイ」によるベトナムへの被害について弔意を表した。

(イ) 「ペ」大統領は、ベトナムとの友好関係を強化し、全ての分野における二国間の課題

をより充実したものとするために、引き続きベトナムと緊密に協力していきたい旨述べるとともに、11月7日にハノイで行われた経済協力、貿易及び投資に関する合同委員会の第1回会合が成功裡に行われた旨述べた。

(ウ)「ペ」大統領はクワン国家主席に対し、ベトナムが今年1年を通じてAPEC議長国として、2017年APECのテーマである①地域経済統合の深化、②持続可能で革新的かつ包摂的な成長の促進、③デジタル時代における零細・中小企業の競争力・イノベーションの強化、④気候変動に対応した食料安全保障と持続可能な農業の促進に取り組み、成果を挙げたことについて祝意を表した。

### 3. ビデガライ外相のロシア訪問

16～17日、ビデガライ外相はロシアを公式訪問した。

(1) 17日、ビデガライ外相はラヴロフ露外相と会談し、墨露二国間の議題、並びに両国が相互に関心を有する地域及び多国間の課題について話し合った。

(2) 両外相は、民間部門と調整しつつ二国間の貿易及び投資を促進することに合意した他、両国共通のアジェンダを拡大・深化させることを目的として、両国の恒常的な連絡を維持するために、墨露間に設置されている対話メカニズムを利用することで一致した。

(3) 両外相は、地域及び多国間の課題に関し、ベネズエラ及び北朝鮮情勢について話し合った他、太平洋同盟及びユーラシア経済連合(EAEU)についても話し合った。また、両外相は、国連に関するテーマについて恒常的な対話を維持することで一致した。更に両外相は、ロシアが政策対話のメカニズムを有しているラ米・カリブ諸国共同体(CELAC)の枠組みの中で、ロシアとラ米との交流を促進していくことでも一致した。

(4) ラヴロフ外相は、プーチン露大統領がペニャ・ニエト大統領をロシアに国賓として招待している旨改めて述べた。

(5) その他、ビデガライ外相は、今回のロシア公式訪問において、ロシアの外交官学校において講演を行い、世界の主要課題に立ち向かうために多国間の場においてメキシコが責任を果たしていく旨述べた他、第二次世界大戦で命を落とした無名戦士の墓で献花を行った。

### 4. アンドレイ・キスカ・スロバキア大統領の訪墨

(1) 21日、ペニャ・ニエト大統領は国立宮殿にて、メキシコを公式訪問したアンドレイ・キスカ・スロバキア大統領と首脳会談を行った。両首脳は、墨スロバキアの二国間関係をより緊密かつ活発なものとしていくことで一致した。また、両首脳は、紛争予防、持続可能な開発目標、気候変動、国連改革など各地域及び国際社会における共通の関心事項について意見交換を行った。

(2) 両首脳は、移民の権利の尊重を保証することを目的とした「安全で秩序ある正規移住のためのグローバル・コンパクト (el Pacto Mundial para una Migracion Ordenada, Segura y Regular)」を2018年に採択することの必要性について話し合った。

(3) 両首脳は、民主主義、人権等の両国が共有する価値を再確認した共同宣言に署名し

た。右共同宣言において、「キ」大統領は、スロバキアは墨 EU 自由貿易協定の現代化交渉を支持する旨述べた。

(4) 両首脳の立ち会いの下、科学・技術・学術・イノベーションの分野にかかる交流を促進し、教育・若者・スポーツ・文化にかかる協力を支援するための二つの文書の署名が行われた。

(5) 今般の「キ」大統領のメキシコ訪問は、スロバキアの首脳による初のメキシコ公式訪問である。「キ」大統領は同行したスロバキアの企業家たちと、墨スロバキア間のビジネスの機会を強化することを目的として、11月22日にヌエボ・レオン州モンテレイ市を訪問した。

## 5. ビデガライ外相のブラジル訪問

### (1) テメル伯大統領との会談

24日、ブラジルを訪問したビデガライ外相はテメル伯大統領と会談し、9月に発生した二つの大地震（9月7日に発生したメキシコ南部地震及び9月19日に発生したメキシコ中央部地震）に際しブラジルがメキシコに送った人道支援に関し、伯政府及び国民に対するメキシコの深い感謝の意を述べた。

### (2) ヌネス伯外相との墨伯外相会談

(ア) 24日、ブラジルを訪問したビデガライ外相はヌネス伯外相と墨伯外相会談を行い、二国間及び国際社会の議題について話し合った。両外相は、現在交渉が行われている墨伯間の貿易交渉を成功裡に終わらせ、両国製品の貿易を増加する政治的意図を再確認した。

(イ) ビデガライ外相は、「両国の協力に関し、墨伯間に存在する既存の制度をどのように強化するか、また、カリブ地域の案件において、第三国（特にカリブ地域）とどのように共に取り組んでいくかについて話し合い、また、カリブ地域は、気候変動等の自然現象に対し、アメリカ大陸諸国の連帯を必要としており、墨伯両国にとって重要である」と述べた。

(ウ) また、両外相は、現在国連で交渉が行われている「安全で秩序ある正規移住のためのグローバル・コンパクト」などを含む多国間の議題に関する墨伯間の対話を促進することで一致した。さらに両外相は、太平洋同盟とメルコスールの関係強化、ブラジルの OECD 加盟、国連の PKO 活動参加等について意見交換を行った。

(エ) 両外相は、第4回墨伯二国間委員会を2018年第1四半期に開催することを決定した。